

明智地域自治区運営協議会だより

令和5年度第4回明智地域自治区運営協議会が3月26日（火）に明智振興事務所にて開催されました。内容は下記のとおりです。（出席委員数：運営協議会委員22名中14名、オブザーバー2名 傍聴者：2名）

1. あいさつ

【杉山会長】

今年度最後の運営協議会に出席いただき感謝申し上げます。本日は明智町のスポーツ優秀選手の表彰を先に行うためよろしくお願ひしたい。

2. セレモニー

- ・明智町スポーツ優秀選手表彰を体育振興会により実施。11名を表彰。

3. 恵那南地区統合中学校に係る状況報告について 資料1

【事務局】

- ・恵那南地区統合中学校の件については、昨年5月に準備委員会が立ち上がり、協議が進められている。今回、年度末となったため、明智地域自治区運営協議会の委員に、現在までの状況報告を教育委員会からさせていただく。本日は他にも協議事項があるため、説明後の意見等については時間に制限を設けることを承知願ひたい。

【教育委員会】

- ・資料に基づき説明。（説明資料は明智振興事務所にてご確認いただけます。）

【意見等】

- ・昨年準備委員会が立ち上がった時、明智町ではPTAの方が保護者にアンケートを取っていただき、その結果を保護者にフィードバックしていただいた。意見の中には前向きな意見もあったが、保護者の意見をなかなか聞いてもらえず残念だったという意見もあった。その後、準備委員会では委員の方が保護者の意見を受け入れてくれるという事で進んでいると思う。スタートが残念な気持ちで始まった保護者も多くいたため、準備委員会は丁寧に進めてくれていると思うが、先般、文化センターで開催された保護者向けの意見交換会で残念だったのは、その前に制服やジャージなどについてアンケートを取られ、結果も出ていたと聞いている。その後にもう一度意見をと言われても意見を出した後であったため、これから何をやるんだろうと思う保護者が多くいた。是非、保護者の意見の取り入れ方というものをもう少し検討していただければ、保護者も前向きに良い学校を作ろうという気持ちに変わっていきけると思う。ここにはでてきていないが、廃校になった後の校舎の使い方について、今の段階で分かっていることがあれば教えていただきたい。
- 保護者の意見についてということですが、準備委員会に出席している代表については、それぞれのPTAを代表して出席していただいているという認識である。また、それぞれの部会で細かい所まで意見を出し合いながら、色々と決めているのが現状である。部会等に出される意見については、保護者の皆様が地域の意見を100%とは申し上げないが、概ねの意見をまとめ上げて出席いただいている中で、代表としての意見を言っているところである。今後も色々と決めていく中では、この部会での意見をできる限り尊重しながら進めていきたいと考えている。閉校後の校舎の件については、現在のところ教育委員会側からの意向はないため、地域の皆様の考えを尊重し、どういう使い方が効果的で効率的かを念頭に置き、方向性を決めていきたい。
- ・今話を聞きメリットは沢山出ているが、デメリットは無いのか。また、スクールバスについての利用者は80%と聞いており、文化センターで説明会があった際に参加者の中で校長経験者がおり、その人が言うには、子どもたちの体力はものすごく落ち、部活動も思うようにできないと言っていた。そういうデメリットを説明資料に書いてもらいたいと思う。中学生というのは体力をつけるのに大事な時期だと思うがそれをどういうふうに考えているかお聞きしたい。

→物事であるため、メリット、デメリットは当然あると思う。教育委員会としては、統合することによって今の環境よりも教育環境が格段に良くなるという所に重きを置いている。例えばで言うと、新しい学校は学年3学級を令和15年くらいまで保持できる。これから社会に出る子どもたちを中学校段階でどう育てていくかということについては、多くの仲間の中で自分の意見を出しながらコミュニケーションスキルを養い、大人になれば当然、皆さんも同じだと思うが、チームとして仕事をしていく場面が増えてくる。そうした中で自分の意見が出していける子どもを作り、社会へ出していってあげたいと考えている。学校活動においても部活動の話が出たが、人数の少ない限られた学校生活では部活の種目、体育大会、合唱祭等も限られたものになってしまう。また、教える側の教員も専門教科の先生が全員揃わないようなことになる。こうしたことを考えると、今話したことの裏側がデメリットであると思う。スクールバスについては、安全に子ども達を学校まで運ぶことが一番の重要ポイントであるため、家の近くから乗ってもらい、学校の近くで降りてもらふことになる。体力面が落ちるという事は歩いて通うことも達には比べれば確かにあるかもしれないが、この部分については統合した後の学校の中で、活動の時間を工夫して、子ども達自身も意見交換しながら自分たちで考えていくことも大切なことであると考えている。

・先程、教育委員会からの回答の中で、準備委員会へ出席しているPTAの代表は、保護者の意見を取りまとめて出席頂いている認識であるということであった。昨年、PTAの本部役員を受けていたが、意見を取りまとめることについて議論をしたことはあったが、方策や取りまとめ方法について、どういう形で行うのが良いのか、なかなか意見が出なかった。気づいたときには、PTAの本部役員の中で統合について話すこともなくなってしまった。次年度については、教育委員会からPTAを代表して出席している方に対して、PTAの中で話を蒙ってほしいという依頼をかけたらどうかと思う。中には個人の意見として部会の中で意見を言うという事に対し悩んでいる方も見え、プレッシャーに感じている方も見えるため、次年度は教育委員会としてサポート的な部分もお願いしたい。

→各PTAを代表して出席いただいている方について、年度が替わると役職が変わるという方も見えるため、改めて新しいメンバーになったところで、総会や部会などが始まっていくため、その会議の冒頭で今言われたことを教育委員会からもお願いしていく。出席者の方には会議の内容をPTAにフィードバックしていただきながら、ご意見も伺ってきていただきたいという話をしていきたい。

4. 協議事項

- (1) 令和5年度まちづくり活動補助金事業の実績と 資料2
令和6年度まちづくり活動補助金事業の内示について 資料3
・単独事業(4事業)、連携事業(1事業)

【事務局】

- ・資料に基づき、令和5年度まちづくり活動補助金事業の実績及び交付金に係る現時点での実績を報告。
- ・資料に基づき、令和6年度のまちづくり活動補助金に係る単独事業分4事業、連携事業分1事業、自治区への交付金について、補助金内示額を説明。恵那市全体枠の補助金の中で、申請額が補助金額を上回ったため、按分調整を行い内示額となった。

【意見等】

- ・特になし

- (2) 令和6年度まちづくり懇談会の開催について 資料4

【事務局】

- ・開催日については、令和6年6月13日(木)午後1時30分から開催することが決定された。視察場所、懇談の内容、懇談参加者については事務局を中心に地域自治区会長及び運営協議会副会長を中心に相談しながら進めていきたい。委員の中で良い提案があれば、4月19日(金)までに事務局まで連絡をいただければ調整していく。
- ・今のところ、内容は決まっていないが、視察場所の提案として2つある。1つ目、外国人による森林の伐採。門野地区、杉野、落倉で伐採をしている。伐採の現状を見ていただきたいため、門野のしらたか辺りの森林伐採状況を見に行くのはどうか。森林伐採の件に関しては、振興事務所、林政課、県の農林事務所も絡んでおり指導を行っている。2つ目は大正村が40周年を迎え、2月には大正ロマン館がリニューアルオープンをしたため、そこを見ていただきながら40周年の話をしたらどうか。懇談の内容については、他に良い提案があったら事務局まで報告願いたい。

【杉山会長】

・森林の伐採はひどい状況である。先日、瀧瀬所長、梅村主任主査と市役所の建設課、林政課、上下水道課へ陳情に行ってきた。上水道の上流になる場所の伐採については、厳しく対応していただくようお願いをしてきた。恐らく、今年の梅雨の時期には山が崩れて山水が止まってしまう状況になることも想定される。今後、目を光らせていきたいと思っている。

【意見等】

・特になし

5. 報告・共有事項

(1) 部会開催状況について (12月運営協議会以降の開催)

【松原安心部会長】

・1点報告を行う。1月30日に安心部会を開催した。現在設置しているバス停のほか、新たに明智郵便局前にバス停が欲しいという要望があったため、安心部会にて交通政策課を含め協議を行い設置する運びとなった。

(2) 令和6年度恵那市主要事業の概要について 資料5

【事務局】

・資料に基づき説明。

6. 各種団体・委員さんからのご意見・情報交換

- ・八王子神社新聞記事掲載について委員から資料を配布し説明。
- ・中学校廃校後の動きが決まっていらないのであれば、取り壊してしまう前にどんな使い方ができるかなどの検討をおろしていただきたい。廃校の活用について考えている若者もいるのでそういった声に耳を傾けていただけるとありがたい。
- ・明智みらい会議で2年ほど活動してきた。私たちの中では明智の良さを継続していくことも大事だが、このままでは、10年後、20年後には衰退した町になってしまうという危機感を持って活動している。今年やってきた事を振り返って、来年度はまた一歩何が踏み出せるか考えながら新しい事に挑戦する事を考えている。明智みらい会議の中で「紡ぐ」という女性メンバー中心で広報活動をやってきた。イベントに特化してやってきたが、この4月から明智みらい会議の空き家対策をやりながら、「紡ぐ」という団体に明智みらい会議からは独立して、視野を広げ、これまでできなかった事を行い、活動を広げていきたいと考えている。「紡ぐ」の広報誌については、今まで広報えなどと一緒に全戸配布していたが、今後は「紡ぐ舎」の方で独立して発行していくため、引き続き応援していただきたいと思っている。

【杉山会長】

・昨年、恵那土木事務所に陳情に行ったことを少しお話する。陳情した中の一つであった市場交差点のアスファルト舗装を新しくしてもらった。毎年、土木事務所へ陳情に行っているが、今までお願いをしたその年にやってくれるということはなかったが、今回は要望年度中にやってくれたのはありがたいと思っている。何かこういう所を改善したいという所があった場合、陳情に行くため意見を出していただきたい。先ほど話のあった学校の校舎や体育館は早々に壊すという事はないので、これから皆さんの意見を伺って進めていきたいと思っている。

7. その他

【事務局】

・杉山地域自治区会長を始めとした、運営協議会の皆様、オブザーバーの皆様、今年1年間のご活躍に対し感謝申し上げます。次年度、継続して委員となっただけの方も多く見えるため、次年度については、更なるお知恵を拝借したい。充て職により3月末をもってご退任される委員の皆様については、委員を離れても、この明智町のために、引き続きお力をお借りしたいと思うため、合わせてよろしくお願ひ申し上げます。次年度の明智振興事務所及びコミセンの職員体制についてお話しさせていただく。先週末、人事異動の内示があった。振興事務所の異動者については、瀧瀬(所長)と林主査の2名が異動となった。コミセンについては塩田塾長以下、異動はなかった。明智地域自治区には、まだまだ多くの課題があり、道半ばでの異動となってしまったが、ここにお集まりの全ての皆様が今まで以上に団結し、明智町が住みやすく、賑わいがある町となるよう願っている。

【オブザーバー伊藤市議より】

- ・各部会の活動の中で着実に成果が出てきたと感じている。まちづくり活動補助金の資料を見ると、市内のそれぞれの地域が課題を解決するための補助金をどう活用しているかが分かる。理想を言うと、明智町に大きな予算がきて、町並み整備を含めたまちづくり事業を一度にできれば良いと思うが、現実的には難しいため、毎年、まちづくり活動補助金を活用しながら地道にまちづくりを続けていくしかないのだろうと思う。そうした場合、それぞれの地域が、どういう課題を持っていて、どんな形で解決していくのが参考になってくる。明智町の一つの例で言うと、あけちみらい会議の中で活動して行くうちに、新たな課題を見つけ、独立（紡ぐ舎）してまた違った形で活動するというのは、新しい展開が期待できる。まいまいくらのイルミネーションについても新たなイベントが実施できた。下ヶ淵イルミエールも同じである。こういったまちづくり活動を行い、繰り返しながら、少しずつ交流人口を増やし、まちづくりをやっていくしかないだろうと思う。まちづくりで交流人口が増え、それが移住定住に繋がっていく仕組みが少しでもできたらと思っている。来年度も色々な取り組みがあるため、新たな活動が見えてくると思う。学校統合の問題に関しては、できるだけどういう形で進んでいくかを皆さんに知っていただく必要があるため、今回同様に教育委員会に来ていただきたいと思う。

【オブザーバー平林市議より】

- ・今年度最後の会議のため、聞きにくい事もあるかと思うが話させていただく。先ほど、話に出た危機感という言葉は本当にその通りで、今年、明智町では子どもが2人しか生まれていない。人口もすごく減っている。平成29年から比べて779人減った。高齢化率が44.5%になってきている中で、これからのまちづくりをどうしていくのかについて、皆で知恵を集めなければいけない。私が議員になってから地域の皆で考えよう、明智には色々な団体が頑張っているのだけれど、その団体が一つになって明智の町をどうつくっていくかを一緒に考えようと言ってきたつもりであったが、なかなかそれが出来ない。部会ができて活動ができない。部会同士が繋がっていかない中で、こんなまちづくりをしていこうとか、大正村をこうしていこうという構想もなかなかできていかない。本当に私はどうしたらいいのだろうと町の人達と話している。運営協議会で報告も大事だが、皆さんが意見を出し合って最後のチャンスを活かさないと本当に最後になってしまうと思う。その辺をもっと考える運営協議会にさせていただきたいとこの3年間思ってきた。町の活性化のために地域力をつける。確かにイベントそれぞれでは頑張っているが、それぞれの方が一緒になってやっていく地域力。中野方などは地域力を感じる。地域の皆で考えてやっっていこう、そういうものを明智につくっていけないかと痛切に思っている。今年、大正村が40周年、市政が20周年ですが、20周年で何が良くなったのか、課題は何かという事をきちっとしないと20年経って合併して良かったでは済まされない。学校統合についてだが、今日、初めて教育委員会が運営協議会で説明した。確か1年前、運営協議会で話さなくて良いのか？と質問したら、それは教育委員会の事だからここで話すことではないと言われたが、決める段階に教育委員会が来て、なぜ、丁寧に説明しなかったのか。今日の話の中で、メリットを話されたが、地域ではデメリットをいっぱい感じているからそれを出し合って考えようという事が大事であった。それをやってこなかったため、今、地域が割れている。本当に統合してしまっただけで良いのか、どうなるのかという不安を持っている状況がうまれていると思うため、何とか打開していく方向で来年度、一緒に考えていきたいと思うためよろしく願いしたい。

問い合わせ先：明智地域自治区運営協議会事務局（明智振興事務所内）

☎0573-54-2111

まいまいあけち
maimai aketchi

